



NPO PTPL “ともいき” 便り No.15

■ 立冬（りっとう）号 （2012年11月7日発行）

- 10月20日（土）から秋の土用が始まり、土用の終り、つまり、18日目の11月6日（火）が節分、そして翌日、11月7日（水）が立冬。
立冬の節気は11月7日から11月21日の15日間です。
 - われわれの祖先は季節の節目、一年の移ろいの節目、人生の節目を大切に生きてきました。正に人と自然が共に調和して生きるということ。自然と共に生きる知恵と歴史を刻んできたのです。
 - 朝晩はだいぶ冷え込んできました。日暮れも早くなり、特に朝など思わぬ冷気に身のひきしまることもあります。「今朝の冬（けさのふゆ）」とはそのような思いを持つ立冬の朝を指す季語です。
 - 地方により初霜、初氷、初雪の知らせを聞くことも多くなり、冬の先触れ、冬の兆しを実感する時季です。
 - 朝晩の冷え込みとは反対に、日中の汗ばむような小春日和、さあ、冬支度の始まりです。
- ◎ 一日一回“ともいき暦”を。“ともいき暦”は21世紀を生きる人びとの生活の知恵です。
- 11月8日（木）は酉の日、酉の市、一の酉です。（二の酉は11月20日（火）、今年三の酉はありません。） 11月の酉の日に各地の鷲・鳳・大鳥神社で行われる祭りのことです。
 - 酉の市というのは関西にはありません。東京周辺の行事です。
目黒、品川、浅草、深川、新宿、横浜などなど40ヶ所以上に酉の市は立ちますが、最も賑やかなのは、場所柄だけあって浅草の鷲神社、新宿の花園神社でしょう。
 - どこでも盛り場の神社の境内に酉の市は立ち、庶民の開運の神として信仰され、特に商売繁盛を願う祭りとなっています。

- 酉の市の縁起物は熊手に頭の芋です。熊手は昔は家庭の実用品として売られていたものでしたが、今では、全く縁起物の装飾品となっており、大きさは手の平くらいの小さなものから 7、8 尺の大きな物まで、様々で、竹の熊手におかめの面や七福神、宝船、打出の小槌、大判小判、大福帳に松竹梅、鶴亀、米俵など縁起の良いものを片っ端から飾り付けて、特大の熊手は何十万という高値です。大きな熊手が売れると手締めをして、威勢がよく、盛り上がります。是非、今年のご近所の酉の市に行ってお雰囲気を味わってみてください。そして熊手を買い、家族の開運、家内安全、商売繁盛を願いましょう。
- 11 月 9 日（金）は太陽暦採用記念日です。1872 年（明治 5 年）11 月 9 日、中国から暦法が入って以来、千数百年、太陰太陽暦が使用されてきましたが、それを廃して太陽暦（現行の世界共通カレンダー）に変える改暦を政府が発表し、これによって明治 5 年 12 月 3 日が太陽暦の明治 6 年 1 月 1 日になりました。
- この布告の日を入れても、わずか 23 日で改暦という生活に密着したことについての改革をこのような短期間の予告で行うという無茶な改暦でした。国民生活に深く関わりのある改暦を、太陽暦に対する啓蒙も十分になく実施されたのです。
庶民の慌てぶりと困惑が想像できますね。
- 11 月 15 日（木）は七五三。男児は 3 才と 5 才、女児は 3 才と 7 才の男女児を連れて近くの氏神や都市部の大社などに参拝し、千歳飴（鶴や亀などを描いた彩り、鮮やかな細長い紙袋に千歳飴という棒飴が入っています。まだ幼いわが子の千歳までの長寿を願って食べる飴。）をかう風習を七五三祝い、略して七五三といいます。
- 七五三の 11 月 15 日は旧暦の日付をそのまま新暦に当てはめました。旧暦の毎月の 15 日は満月、そして新暦に当てはめると 12 月中旬以降です。わが子の健康と感謝の気持ちを持って昔の人は年末に神社に参拝したのです。11 月 15 日では少し早すぎませんか。

◎ この時季の花「茶の花」

- 中国雲南地方が原産で、ツバキと同族の木です。九州や四国などの暖地の山林には野生の茶の木が見られます。茶の木はお茶をつくるために、主に茶園で栽培されますが、垣根などにも植えられています。

- 晩秋から初冬にかけて白色のふっくらした五弁の白い小花をつけます。多数の金色の雄しべ、葉陰に隠れたツボミ、量感はありますが、華やかというより「わび」「さび」を見せて、少し下向きかげんに咲く姿が人びとに好まれています。凜とした初冬の冷気のなかに慎ましく咲いている茶の花は、心静かに眺めるのに、ふさわしい花といえます。
- 茶園では、よい茶をつくるために、花を咲かせず、栄養分を葉に集めるようにしているので茶園では花はあまり見られませんが、観賞用に、特に茶の花を咲かせる木を育てている茶園もあります。
- さし木で茶の木を鉢植えで育ててみましょう。
春になって、茶の木の小枝を 2、3 本さし木をし、明るい日陰におき、水やりはさし穂がしおれない程度に行えば、2 週間から 1 ヶ月くらいで発根します。2、3 年で自分の茶の木でお茶を飲み、茶の花を鑑賞してはいかがでしょうか。
- ▲ “ともいき暦” の表紙、点滅している立冬のブロックの日付をクリックして解説とともに、“立冬”、そして初候、次候、末候の映像もお楽しみください。
なお、この時季の季語も参考にしてください。
自然のリズム、回帰循環する時間の価値観を大切にしましょう。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

◎ NPO PTPL が企画協力している[東京二十四節気ウォーク 2012 第7回立冬]が開催されました。

2012年11月4日(日)、立冬の節気の数日前でしたが、この日は、まさに小春日和にふさわしい、綺麗に澄んだ青空と柔らかな日差しのもと、当日は273名の方が参加されました。

今回のテーマは「菊」。日比谷公園をスタート。大手門から皇居東御苑内の番所や松の大廊下、天守台跡を見ながら、武道館のある北の丸公園を抜け、飯田橋の再開発エリアから靖国神社へ。靖国神社では参拝と菊の展示を楽しみ、千鳥が淵から祝田橋までの皇居の周りからスタート地の日比谷公園までの11Kmのコースを楽しんでいただきました。

日比谷公園でも、東日本最大規模の「東京都観光菊花大会」および「山梨ヌーボー解禁」の行事などが開催され、参加者はウォーキングあと、それぞれの会場へ向かい楽しまれたようです。



大手門に向かう参加者

◎facebook「ともいきぐらし」、是非一度ご覧になってください。また、その際には「いいね」ボタンを押していただければと思います。

(さらに、色々とコメントも寄せてもらえれば幸いです)

<http://www.facebook.com/tomoikigurashi>

◎ 一日一回“ともいき暦”を。

自然の流れに寄り添い、自然のリズムに合った旧暦のある暮らしは、今の時代だからこそ大切です。人の身体も心も豊かにしてくれるもの、それが“ともいき暦”です。“ともいき暦”は21世紀に生きる人々の生活の知恵なのです。

◎ “ともいき便り”のご感想、ご意見をお寄せください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp